

平成 31 年度使用高等学校  
(第 1 部)  
教科書編集趣意書  
芸術 (美術Ⅱ) 編

目次

	ページ
116 日文 高校美術 2 .....	1

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
116 日 文	美Ⅱ 302	高校美術 2  代表著作者 原 研哉 近藤幸夫

## I 編集の基本方針及び編集上特に留意した点又は特色

### A. 編集の基本方針

1. 「美術Ⅰ」の学習の上に立ち、さらに深く豊かに表現と鑑賞の能力を伸ばすため、発展的・応用的な題材を精選し、より充実した内容の教科書となるよう編集しました。
2. 「生きる力」を育むため、美術の豊かさや楽しさが教科書全体から伝わるように努め、生徒が主体的、積極的、意欲的に創造活動に取り組めるように工夫しました。
3. これからの時代を生きる生徒に必要な、新しい感性による新しい表現を積極的に取り入れるよう心掛けました。また、教科書全体から新鮮な感覚が感じられるようレイアウトや印刷にも心を配り、統一感のある美しい紙面構成となるよう配慮しました。

### B. 編集上特に留意した点又は特色

1. 絵画・彫刻では単に作品を紹介するだけでなく、作者の芸術観や生き方が理解できるようにし、生徒の理解がより深まるよう心掛けました。また表現技法や制作過程を具体的に分かりやすく解説し、生徒が主体的に表現活動に取り組めるよう工夫しています。
2. デザインでは公共の概念や他者への思いやりなど道徳的心情が養える題材を設定し、デザインの社会的機能について考えられるようにしました。
3. 映像メディア表現では積極的に新しい感性による新しい表現を取り上げ、これからの写真や映像表現の可能性について理解が深まるような題材を設けました。
4. 鑑賞では美術の全体像が把握できるよう、古典作品から現代美術に至るさまざまな美術を幅広く取り上げるとともに、我が国の文化や伝統を尊重する態度を養うため、日本美術のすばらしさが理解できるような題材を設定しています。

## II 教科書の編成、教科書内容の組織、配列

1. 学習指導要領に沿い、絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現及び鑑賞の各領域が、適切な分量でバランスよく配置されるよう心掛けました。
2. 表現の追求が鑑賞を深め、鑑賞の深まりが新たな表現の可能性を生むという関係を重視し、表現題材と鑑賞題材とが相乗効果を持つよう、題材の配列や図版の選定などに配慮しました。
3. 作品のすばらしさが実感を持って感じ取れるように、2ページにわたる大型の図版などを多数掲載し、生徒の興味や創作意欲を引き出すようにしました。また、題材の趣旨や内容を理解しやすくするため、必要な項目や図版には本文とは別に適切な解説を付しています。

### Ⅲ 教育基本法や学習指導要領との関連等

#### A. 教育基本法との関連

教育基本法第二条（教育の目標）の各項（一～五）に関連して以下のような配慮をしました。

一	教科書全体を通して幅広い知識と教養，豊かな情操が養えるように，美術のさまざまな分野の優れた作品を多数掲載し，その豊かさやすばらしさが実感できるよう心掛けました。
二	個性を尊重しその能力を伸ばすとともに，自主自律の精神を養うため，生徒が自分自身で適切な表現を選択できるように多様な作例や表現方法を提示しました。
三	美術の学習を通して公共の精神や社会の形成に参画する態度を養うため，パブリックアートに関する題材や，社会とデザインの関係を考える「社会と人をつなぐ自転車」，被災者支援をテーマにした「希望をかたちに」などの題材を設定しました。
四	生命を尊び自然を大切にできる心情を養うため，「生きているかたち」「彫刻になった動物たち」「水を描く」「ツリーハウス」など生き物や自然を取り上げたさまざまな題材を設け，自然に親しむ心や環境の大切さが理解できる心情を養うよう努めました。
五	我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うため，積極的に日本美術の紹介に努めるとともに，広く国際理解に資するよう，さまざまな国の美術を紹介するように心掛けました。

#### B. 学習指導要領との関連

学習指導要領の内容		関連する本書の内容
A 表現	(1) 絵画・彫刻	<ul style="list-style-type: none"> <li>発想力や構想力を高め，創作活動における主題の生成を示した題材／ 「生きているかたち」「クリスティーナの世界」</li> <li>制作過程や技法を示し，生徒が自分自身で表現方法を工夫できる題材／ 「想像する力」「日本画の表現」「彫刻になった動物たち」</li> </ul>
	(2) デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を美しく豊かにするためのデザインを考える題材／ 「希望をかたちに」</li> </ul>
	(3) 映像メディア表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像メディアの特性を生かし創造的で心豊かな表現を示した題材／ 「身の回りのものが歌い出す」</li> </ul>
B 鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> <li>作品や作者について理解し鑑賞を深める題材／ 「オリエンテーション 美術はどこへ向かうのか」「美術とともに生きる」「クレイの実験室」「風景の表現と油絵の具」「生きるカージャズ」「ロスコスタイルの確立」「祈りを描く」「空を映す巨大彫刻」「構築されるイメージの世界」「落下する時間」「美術の喜びーサンファールのタロット・ガーデン」</li> <li>心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働きについて理解を深める題材／ 「HIROSHIMA APPEALS」「機能を考える」「社会と人をつなぐ自転車」「新しい素材がつくる環境」「絵本の工夫」「ツリーハウスの楽しみ」</li> <li>時代，民俗，風土，宗教などについて考察し，美術文化について理解を深める題材／ 「水を表現する」「装飾性と写実性」「大地に立つ人の姿」「大聖堂と彫刻」</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料／「美しい色彩」</li> </ul>